

医療情報学		講義	教授 豊田 修一
科目カテゴリー	救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	13220148

1. 授業のねらい・概要

医療情報学のもつ多様性（情報技術分野，医療情報システム分野，医療分野）と情報機器の安全な使用法（特にセキュリティ関連）やその利活用を理解することを目的とし，各分野における基本的事項について教授する。その上で，それぞれの分野が有機的につながっていることも教授する。

2. 授業の進め方

講義を中心に進めるが，学生の主体的な取り組みを期待する。

3. 授業計画

1. Society5.0 と医療 2. コンピュータの基礎 3. 情報セキュリティ 4. 医療情報の特性 5. 医療情報システムの概要 6. オーダエントリシステム 7. 電子カルテシステム 8. 地域医療と IT	9. データの見せ方 10. 基本統計量の求め方 11. データの活用 12. 個人情報と医療情報倫理 13. システムの安全管理 14. 医療の DX 15. まとめ
---	--

4. 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

シラバスの授業計画の範囲の予習及び授業内容の復習で 60 分程度の学習を行なうこと。

5. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題のフィードバックは終了後，口頭若しくはメールにて解説を行う。

6. 授業における学修の到達目標

医療の情報化の目的・概要・特性，医療機関で利用されている代表的な医療情報システムの機能・有効性，個人情報保護や標準化，情報機器の安全な使用法，データの利活用を理解することを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）70%，積極性・提出物 30% で，総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト：樺沢一之，豊田修一「医療情報学入門第 2 版」共立出版 978-432012431-8

参考文献：1) 杉本真樹「IT が医療を変える」アスキーメディアワークス 978-404886217-2

2) 日本医療情報学会「新版 医療情報 医学・医療編」篠原出版

その他適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

特になし。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。企業におけるシステム技術者としての実務経験を活かして，講義を行います。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。